

# 長期的な課題に関するタスクフォース の立上げについて（案）

総務省国際戦略局宇宙通信政策課  
平成30年5月17日

# 宇宙データ利活用や宇宙利用に関する検討

～2020年頃

2030年頃

2050年頃

## 宇宙利用の将来像に関する懇話会

### 4次元サイバーシティの活用に向けたTF

(開催期間:平成30年2月～夏頃を予定)

- 宇宙データ利活用にアイデア募集  
応募件数: 14件

### 長期的な課題に関するTF

(開催期間:平成30年夏頃～平成31年春頃を予定)

- 宇宙利用の長期的な将来像等に関するアイデア募集  
応募件数: 30件

検討に先立ち、広くアイデアを募集

### 短期的な課題

- 衛星データの利活用に関するシーズの洗出し、ニーズの創出及びそれらのマッチング
- 「4次元サイバーシティ」の形態及び活用の促進策

### 長期的な課題

- 研究開発のあり方
- 研究機関の役割
- 宇宙輸送システム
- 宇宙空間の安定的な利用
- 有人宇宙活動

[○人口問題、資源・エネルギー枯渇、環境汚染等]

# 長期的な課題に関するタスクフォース

## 目的

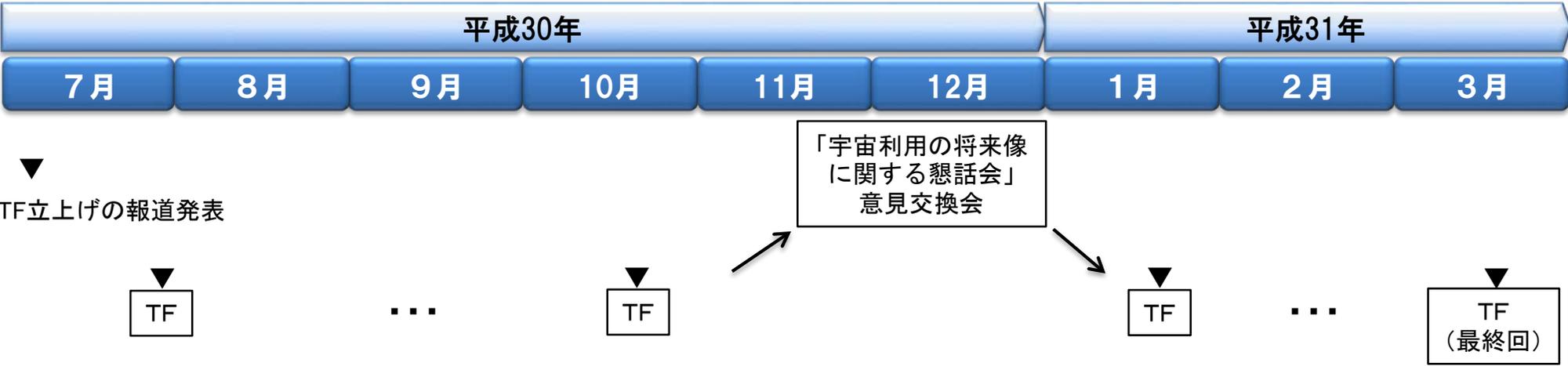
- 人口問題、資源・エネルギー枯渇、環境汚染など、社会的課題が山積する中、宇宙利用を推進・高度化することは、先駆的なイノベーションによる打開策を導き出すために有効。そのため、現代社会が抱える社会的問題の解決に向け、2030年代以降の宇宙利用の将来像、その実現のために必要となる新たな要素技術や研究機関の役割等について、より専門的な観点から検討。

## 進め方

- 宇宙利用における長期的な将来像やその実現に向けた方策に関するアイデア募集を実施済み(30件の提案)。
- 提案のあったアイデアの内、何件かについて、プレゼンを依頼予定。また、構成員についてもプレゼンを打診。資料の公開・非公開は個別に判断。

## スケジュール(案)

※夏頃に第1回を開催



### (1) 目的

- 人口問題、資源・エネルギー枯渇、環境汚染など、多くの課題が山積する中、宇宙利用を推進・高度化することは、先駆的なイノベーションによる打開策を導き出すために有効。(人類を新たな高みへと引き上げる可能性も秘めている。)
- 本懇話会では、宇宙利用におけるイノベーションによりもたらされる新たな将来像について、2030年代以降を展望しつつ幅広く懇話することにより、宇宙利用において目指すべき方向性や、短期的及び長期的に取り組むべき方策を検討。
- 短期的なテーマは、近年その利用が注目されている衛星リモートセンシングデータと、地上系データを組み合わせ、社会的課題や地域の課題の解決に資する利用方法を検討し、具体的かつ持続的なプロジェクトを形成。
- 一方、長期的なテーマとしては、以下を想定。
  - 宇宙エレベータやスペースプレーン（航空機型輸送システム）の安全な運行に必要な通信システムの検討。
  - 宇宙デブリの検出等宇宙空間の安定的な利用に向けた検討。
  - 月近傍等における有人宇宙活動に有効な抗たん性及び低遅延性を備えた通信システムの検討。
  - 宇宙空間での居住、太陽系外探査、量子テレポーテーション、その他SFやマンガ・アニメで描かれている将来像に関するものなど、制限を設けずに検討。

### (2) 構成及び進め方

- (1) 本懇話会の構成員は、原則として宇宙×ICTに関する懇談会と同一とする。
- (2) 宇宙データ利活用や長期的な宇宙利用の将来像について、懇話会の会合開催前に、アイデア募集を行う。
- (3) 必要に応じて、タスクフォースを立ち上げ、より専門的な観点から検討。